

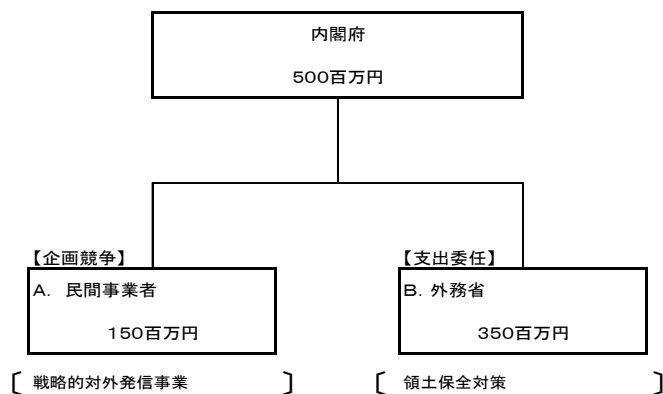
平成25年行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名	国際世論対策費		担当部局	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	政府広報室		官房参事官 加治慶光		
会計区分	一般会計		政策・施策名	2 重要施策に関する広報(政策2-施策)				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	内閣府設置法第4条第3項38号		関係する計画、 通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	最近の我が国の領土・領海を取り巻くさまざまな情勢や我が国企業の国際的な経済活動の展開状況などを踏まえ、日本の国益の増進に資するよう、アジアを含め、欧米等各国における対日理解・好感度を向上させる広報戦略を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	これまでの我が国の取組み及び現在の我が国の重要政策・課題に関して、国際社会に対して戦略的かつ効果的に情報発信を行う。具体的には、外部専門家による調査・分析等、情報発信資料の作成等、国際シンポジウム等の実施、インターネット上での広報等を、各府省と連携し、役割分担を図りながら行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	500	0	
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	500	0	
	執行額	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	平成25年度末に国際広報に対する海外評価調査を実施予定。		成果実績					検討中
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	情報発信や広報に係るシンポジウム及びイベント実施回数		活動実績					-
	情報発信や広報に係る調査・分析回数		(当初見込み)					検討中
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	(目)啓発広報費	500	0	国際広報活動実施経費の見直し				
計	500	0						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	最近の我が国の領土・領海を取り巻く情勢等を踏まえ、我が国の重要政策・課題及び我が国の立場について、国際社会に対して戦略的かつ効果的に情報発信することは、喫緊の課題であり、国として適切に対応する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業者の選定に当たっては、できる限り競争性を確保し、妥当なコストの水準を確保することを前提として、創意工夫のできる企画競争を活用し調達する。その際、企画競争の評価項目には経費の妥当性の確保を加えている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	広報実施に当たっては、各府省とも調整の上、各府省が行う広報と役割を分担して実施している。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	最近の我が国の領土・領海を取り巻く情勢等を踏まえた場合、我が国の重要政策・課題及び我が国の立場について、国際社会に対して戦略的かつ効果的に情報発信することは、喫緊の課題であり、国として国費を投入し、適切に対応する必要があるものである。また、事業の効率性については、創意工夫のできる企画競争を活用することで、できる限り競争性を確保し、妥当なコストの水準を確保することを前提とした事業者の選定及び事業の実施を行っていく。重複排除についても、各府省とも調整の上、各府省が行う広報との役割分担をした上で重複が無いよう実施していく。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	事業の実施にあたり、必ず競争性を確保すること。また、事業の効果的な実施に努め、経費の内容を精査し適正な執行を図ること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	事業者の選定については企画競争を行わせ、可能な限り競争性を確保し、複数の提案のうち最も効果が高いと思われる業者を選定した。また、経費の内容についても無駄な経費が発生しないよう、実施に際し入念に打ち合わせを行うなど、引き続き、コスト及び効果の観点からも合理的な執行を図ってまいりたい。 来年度の予算要求に当たっては、本年度の事業効果を踏まえ、さらに実を挙げる事業推進を行うことが重要である。しかしながら、現在取り組んでいる事業は過去の経験の蓄積に乏しいことから、どのような事業や方法が最も効果的かの判断には、今年度の事業を今後さらに展開していく中で各事業の結果を見極めながら行っていく。					
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	新25追加-0001

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					